

平成29年度 高校生現場見学会報告

平成29年度の若年建設従事者の確保に向けた取り組みの一環として、及び「土木の日」の関連行事として、県下工業高校生の現場見学会を、国土交通省九州地方整備局大隅河川国道事務所・鹿児島県土木部の各振興局建設部のご協力を得まして、公立高校3校で、3クラス 151名（生徒 117名・先生 8名・その他 26名）が参加して無事終了いたしました。

ご協力いただきました、国・県の発注者及びご説明いただきました現場の担当者の皆さん誠にありがとうございました。

実施報告書及びアンケート集計表を添え報告いたします。

平成29年度 高校生の現場見学会アンケート

——— 現場見学会について一言 ———

鹿児島工業高校 建設技術系2年

- 将来の自分の目標に向けてとてもためになる現場見学会でした。
どんな会社がどのような事業を行っているのかを知ることができ、また一つ一つの会社の役割の大切さを知ることができたのでとても勉強になりました。
- マリンポートは災害時の避難場所になり、ベンチがトイレや釜に変えられるということに驚いた。
- 普段行くことのできない橋の上や中に入れたのはすごく嬉しかった。マリンポートが海の上に造られたのも知らなかった。どうやって造ったのか、とても興味を持った。
- 将来、土木に携われるうえで、とても良い経験になりました。今後にしっかりと活かしていきたい。
- 多人数で作業をして、しかも一生地図に残る仕事だとおっしゃっていたので土木という仕事はやりがいのある仕事だと思った。
- 橋の工事を見たのは初めてで、良い経験になった。
- 霧島の道路現場では実際に学校で学んだ工事が行われておりすごく興味を持った。莫大な費用と年月をかけて造り上げた大規模工事は 達成感がすごいらうなと思う。
- 現場見学会で土木に対する意識や能力を实际目で見て感じる事ができた。
授業で習ったことも出てきて、さらに土木のすごさ、土木の大切さを実感した。
- 橋の工事はとても興味深く、自分も橋を造る工事してみたいと思った。
- 将来専門外に進もうと考えていましたが、建設業のすごさを感じました。
- 地域の人たちからのクレームにどう対応しているのか気になった。
- まだ具体的な進路は決まっていますが、少し建設業に興味を持ちました。

- 貴重な体験ができ、いろいろ学びました。土木に進んでいきたいので、これに繋がる良い機会になりました。勉強を頑張ります。
- 工事現場の雰囲気や作業を見ることができ、土木の仕事をする中でのやりがいを聞くことができ、とてもいい仕事だと思った。
- 同じ高校の卒業生の話は自分の将来を決めるときにとっても参考になった。
- O Bの方を見て、生き生きと働いている姿はかっこ良かった。



加治木工業高校 土木科1年

- 大変ためになったので忘れないようにしたい。
- とてもすばらしい体験ができました。
- 今まで土木にあまり興味ももてていなかったが、この見学会で興味が湧いた。
- 実際の現場を見学することによって、教科書とは違うリアルを味わうとともに危険を知りました。



鹿屋工業高校 土木科1年

- いろいろな事を学べた。
- 橋がどのように造られるのか、どんな注意が必要かよくわかった。
- 体験や見学ができて面白かった。

